



【講演概略】風は、風力エネルギーや動植物が生きる上でさまざまな恵みをもたらす一方で、暴風・突風となって私たちに大きな被害を与えることがあります。この講座では、風災害をもたらす台風や竜巻が、いつどのように起こるのか、風による被害や社会生活への影響、および風災害への備えについて、風工学の最新の情報とともにやさしく解説します。

<講演者：野村 卓史 氏 プロフィール>

①経 歴：1954 年生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業。同大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程修了。79年東京工業大学工学部土木工学科助手。85年同大学助教授。89年スタンフォード大学客員研究員。91年東京大学工学部土木工学科助教授。94年日本大学理工学部土木工学科助教授。現在、日本大学理工学部土木工学科教授。工学博士（東京工業大学）。



②専門分野：構造工学・風工学・計算力学

自宅に風力発電を独力で設置し、ホームページ「風探偵団」を運営。

③著 書：主な著書に『風の事典』（丸善出版），『風車のある風景～風力発電を見に行こう～』（出窓社），『構造力学』（コロナ社），『有限要素法による流れのシミュレーション 第2章有限要素法流れ解析の基礎』（シュプリンガー・フェアラク東京），『続・有限要素法による流れのシミュレーション 第8章乱流解析』（シュプリンガー・フェアラク東京），『風工学における流れの数値シミュレーション法入門』（土木学会），『強風災害の変遷と教訓（第2版）』（日本風工学会），『風工学ハンドブック』（朝倉書店），『不静定構造の力学』（理工図書），他。



2012年のつくば竜巻の被害（撮影：九州大学 前田潤滋教授）



2002年の横須賀の竜巻の被害